

釜山・東義大学での短期語学研修を終えて

名寄市立大学社会福祉学科 2年・東 鈴奈

私は今回、8月10日から8月20日までの十日間、釜山の東義大学で行われていた短期韓国語研修に参加しました。

大学に着いて最初の日、黄先生の知り合いの教授の方が、昼食にアヒルのお肉をごちそうしてくれました。アヒルのお肉を食べるのは初めてだったので不安でしたが、とても美味しかったです。また、そこで4人の看護学科の学生さんたちと交流することが出来ました。カフェで3時間ほどお話をしましたが、お互い韓国語、日本語がほとんどわかりませんでした。しかし、翻訳機やジェスチャーなど、様々な方法を使ってたくさんのお話をすることが出来ました。韓国の学生の方と話したことがほとんどなかったのもとても緊張していましたが、みんなとても優しく、気さくですぐに仲良くなることが出来ました。韓国語がわからない私たちに本当によくしてくれたので、今度日本に来たら私たちが案内をしますと約束をしました。いつか必ず恩返しをしたいです。

大学では、1日2時間ずつ先生方が韓国語がほとんどわからない私たちにとても優しく、丁寧に韓国語を教えてくださいました。また、授業の後には一人一人に学生のチューターの方がついて、授業で出された宿題を教えてくださいたり、細かい発音を教えていただきました。学生さんということでも年が近い方が多かったのも、日韓の文化の違いや好きな音楽の話などをしました。日常の会話をしながら実際に使われている韓国語に触れることが出来るととてもよい機会となりました。

それだけでなく、行事ではサムルノリという韓国の伝統的な楽器を習ったり、野球観戦を楽しみました。サムルノリは授業が終わっても頭から離れないような特徴的なリズムでとても楽しく演奏することが出来ました。野球観戦ではとても驚いたことがあります。それは、韓国の野球観戦はゲーム中も常に音楽に合わせた応援をするということです。観客の熱気がすごく、ただ見るのではなく一緒に戦っているようでとてもおもしろい体験でした。

また、8月14日には釜山市内ツアーがありました。市内ツアーでは海洋博物館やチャイナタウン、甘川洞文化村など、釜山市内の観光名所めぐりをしました。なかでも甘川洞文化村は村全体が美術館のようでとてもきれいで、強く印象に残っています。しかし、この日は私が今まで経験したことがないほどにとっても暑く、少し疲れてしまい、景色を十分に楽しむことが出来なかったように感じます。なので、また涼しい時期に訪れたいと思います。

市内ツアーが終わると、私たちはKTXという韓国の新幹線に乗ってソウルへ向かいました。ソウルに着くと、韓国で議員をされていたイ・チョルさんから民主

政治に対する考えやデモについてお話を聞くことが出来ました。私たちは韓国語がほとんどできず、詳しいお話を聞くことが出来なかったのが残念でしたが、とても貴重なお話を聞くことが出来ました。

翌日、黄先生の知り合いの方が車でソウル市内を案内してくださいました。私達が行きたいところや COEX という大きいデパートへ連れて行ってくださり、最後には仁寺洞へ行きました。ショッピングや韓服を着る体験、パップンスという韓国のかき氷や韓国料理を食べることができ、観光を楽しむことが出来ました。ソウルには 1 日しか滞在することが出来ずとても残念でしたが、案内をしていただいたおかげでとても充実した 1 日となりました。

このほかにも、毎日授業の後にチューターさんがいろいろな所に連れて行ってくださり、海へ行ったり、韓国語の映画を観たり、とても楽しくあっという間の 10 日間でした。

そして、この 10 日間で私が特に感じたことが 2 つあります。

1 つ目は、韓国語がもっとできたら良かったということです。今回韓国の方と交流する機会がたくさんありましたが、自分の伝えたいことを言葉にできなかったり、相手の言いたいことを理解できないもどかしさを感じました。また、外国の方とコミュニケーションをとるためにはその国の言語だけでなく英語も必要だと痛感しました。簡単な単語だけでも英語で伝えられたらもっとスムーズに会話をやり取りすることが出来たと思います。今度また今回お世話になった方々と会うことができれば、韓国語、英語を使ってスムーズにコミュニケーションがとれるよう、これからも勉強を頑張りたいです。

2 つ目は、たくさんの方々への感謝です。東義大学では、韓国語がわからない私たちのために案内をしてくれたり、寮や授業について教えてくれた大学院生のしおりさんや本当に優しく韓国語を教えてくれた先生方、毎日いろいろな所に連れて行ってくれたチューターさん、そして、わざわざ時間を作って私たちに会ってくれたり、韓国について案内してくれた人たちのおかげで本当に楽しい 10 日間を過ごすことが出来ました。

今回は、このような貴重な経験が出来て本当によかったです。これからも、今回の経験で感じたことを忘れずに過ごしていきたいと思います。